

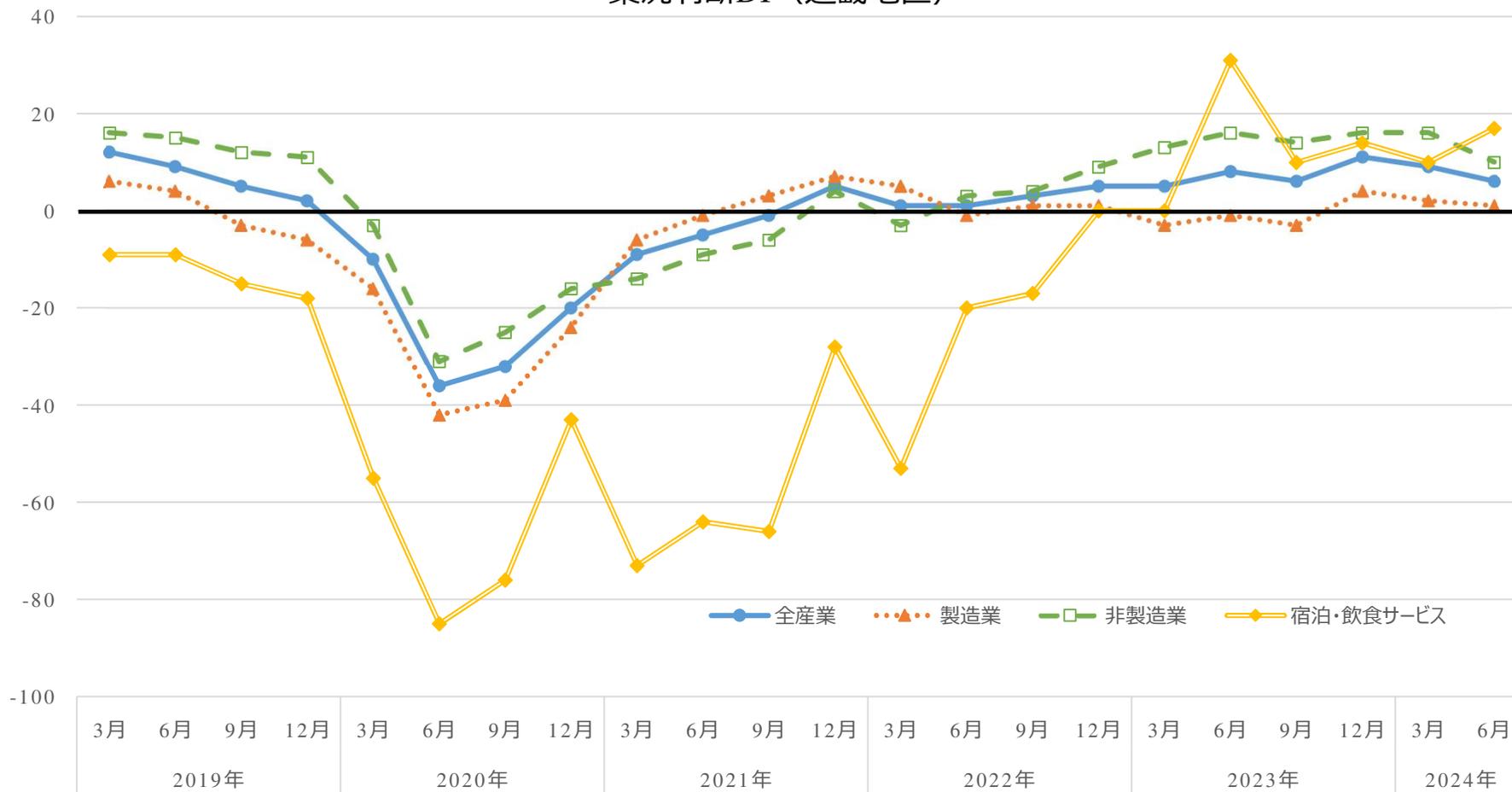
# 大阪の観光を取り巻く状況

---

# 業況判断DI (近畿)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて企業の景況感（日銀短観 DI）は、2020年3月から6月にかけて急速に落ち込んだが、緩やかに回復。
- 直近ではインバウンドの回復に伴い、非製造業は改善傾向にあり、2023年6月にはコロナ前の水準に回復し、その後も堅調に推移。宿泊・飲食サービスも同様に、堅調に推移している。

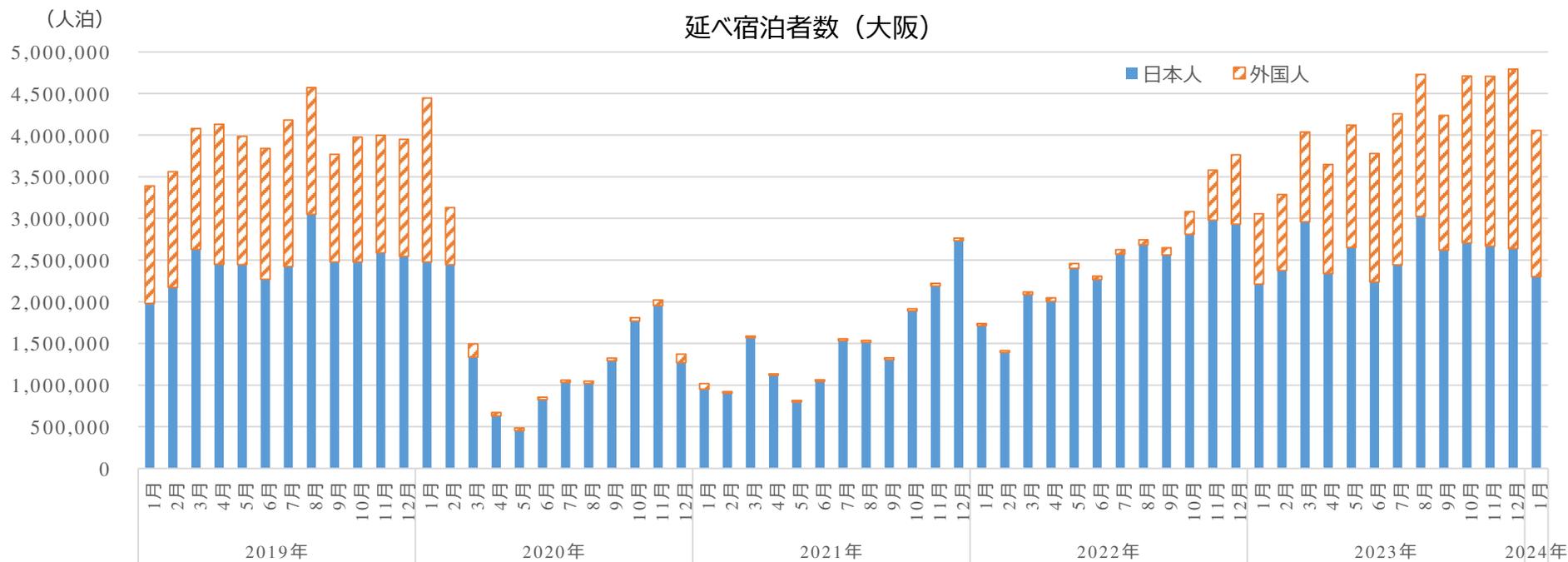
業況判断DI (近畿地区)



出典：日本銀行大阪支店「全国企業短期経済観測調査（近畿地区）」より作成  
 ※2024年6月の数値は先行きDI

# 宿泊者数の状況（大阪）

- 2023年には日本人延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数ともに、コロナウイルス感染拡大前を上回る水準まで回復。
- 宿泊者数に占める外国人の割合は、増加傾向にある。



延べ宿泊者数（大阪）

(単位：人泊)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年												2024年
	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
日本人	29,501,340	16,492,270	17,539,360	28,392,800	2,210,520	2,374,960	2,960,440	2,340,470	2,649,730	2,235,950	2,443,480	3,023,730	2,620,050	2,706,930	2,665,730	2,637,720	2,299,110
外国人	17,926,170	3,224,750	319,380	2,129,680	846,840	911,430	1,074,960	1,305,630	1,470,150	1,542,410	1,812,690	1,704,020	1,615,710	2,001,520	2,040,800	2,154,690	1,755,320
計	47,427,510	19,717,020	17,858,740	30,522,480	3,057,360	3,286,390	4,035,400	3,646,100	4,119,880	3,778,360	4,256,170	4,727,750	4,235,760	4,708,450	4,706,530	4,792,410	4,054,430

延べ宿泊者数（大阪）構成比

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年												2024年
	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
日本人	62.2%	83.6%	98.2%	93.0%	72.3%	72.3%	73.4%	64.2%	64.3%	59.2%	57.4%	64.0%	61.9%	57.5%	56.6%	55.0%	56.7%
外国人	37.8%	16.4%	1.8%	7.0%	27.7%	27.7%	26.6%	35.8%	35.7%	40.8%	42.6%	36.0%	38.1%	42.5%	43.4%	45.0%	43.3%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

# 宿泊施設の状況（大阪）

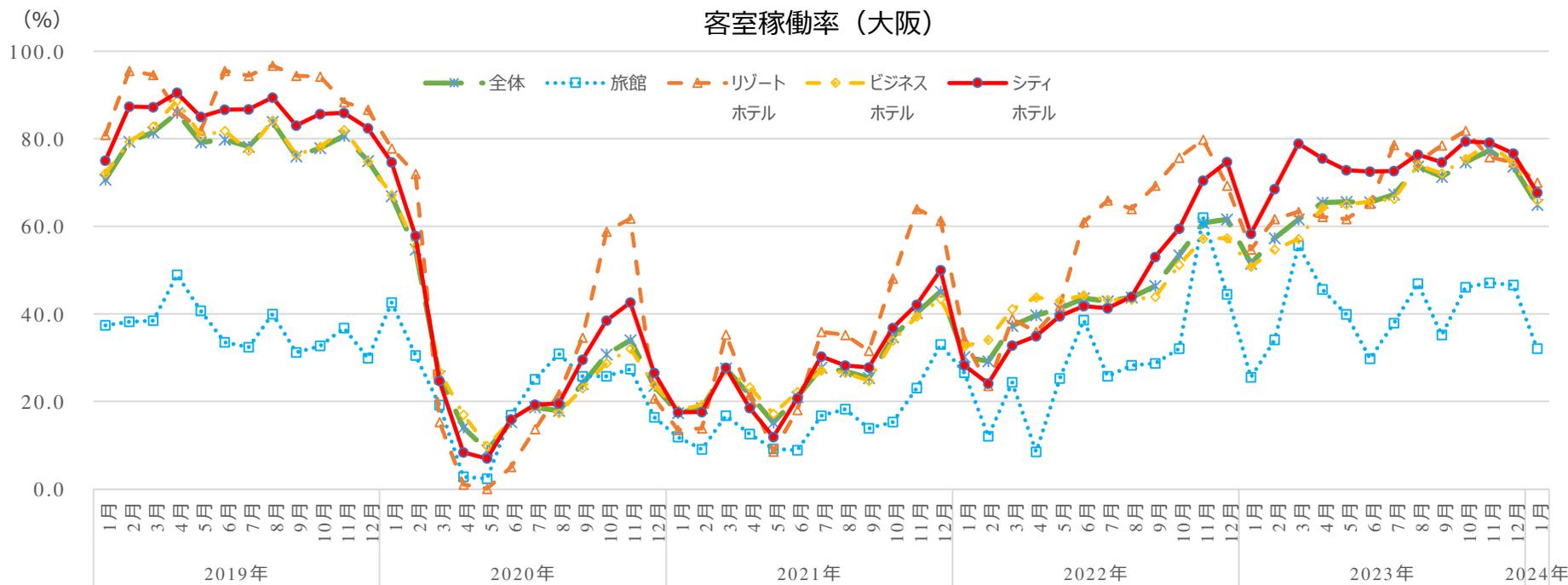
- 宿泊施設数は、制度検討開始時（2015.3月末時点）から大幅に増加。
- 客室稼働率は、宿泊者数の推移と同様に、2023年以降回復傾向にある。

宿泊施設数（大阪）

	2015.3末	2018.4.1	2024.4.1	増加数 (2015.3末→2024.4.1)	増加率 (2015.3末→2024.4.1)
ホテル・旅館	1,130	1,238	1,576	446	139.5%
簡易宿所	178	588	753	575	423.0%
特区民泊	—	611	4,349	4,349	—
新法民泊	—	1	1,897	1,897	—
合計	1,308	2,438	8,575	7,267	655.6%

出典：大阪府調査

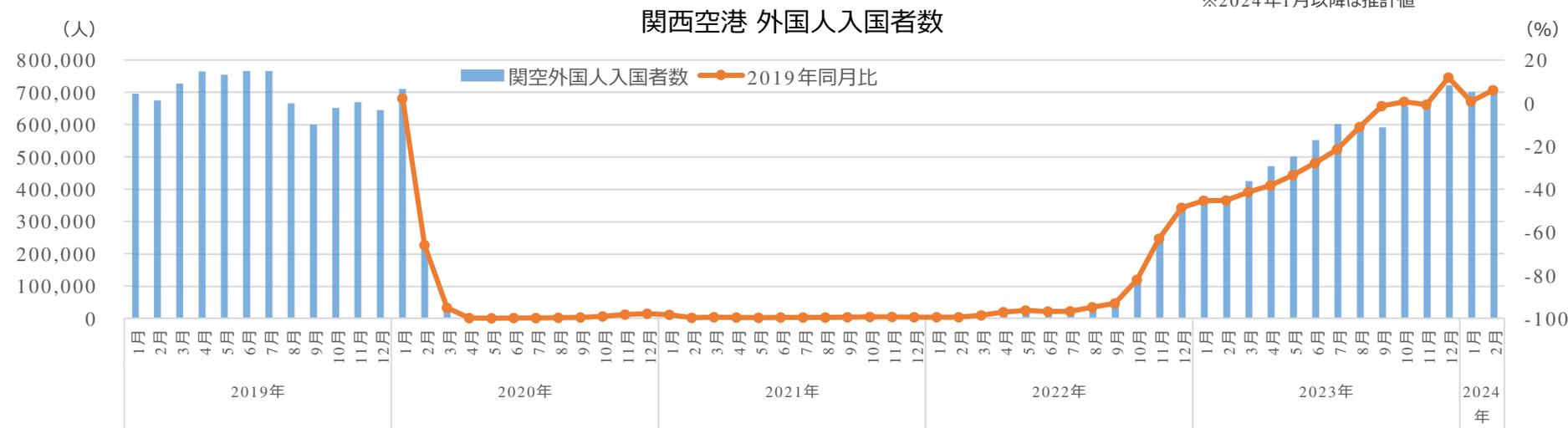
客室稼働率（大阪）



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

# インバウンドの状況（全国・関西空港）

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国際的な移動の制約が続き、2020年4月以降、インバウンド需要がほぼ消失。
- 2022年6月から外国人観光客の受入が一部再開され、2022年10月からは入国者総数上限が撤廃されたことから、外国人旅行者数及び関西空港外国人入国者数とともに改善傾向にあり、2023年12月は、コロナ前を上回る水準となった。



# インバウンドの状況（国別：大阪・全国）

- 訪日外客数は全体として回復してきているが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、中国からの訪日外客数の回復が鈍く、韓国、台湾からの訪日外客数の構成比が高くなってきている。

来阪外客数

(単位：万人)

	2017年		2018年		2019年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
中国	402.4	36.2%	455.0	39.9%	564.2	45.8%
韓国	241.3	21.7%	239.0	20.9%	160.8	13.1%
台湾	140.1	12.6%	122.3	10.7%	127.6	10.4%
香港	74.1	6.7%	71.8	6.3%	71.9	5.8%
アメリカ	35.9	3.2%	41.5	3.6%	48.8	4.0%
タイ	29.8	2.7%	32.5	2.8%	37.5	3.0%
オーストラリア	21.3	1.9%	24.3	2.1%	28.0	2.3%
フィリピン	15.8	1.4%	16.9	1.5%	23.1	1.9%
ベトナム	11.7	1.1%	15.7	1.4%	21.6	1.8%
マレーシア	21.5	1.9%	22.5	2.0%	20.0	1.6%
インドネシア	15.7	1.4%	18.7	1.6%	18.6	1.5%
シンガポール	12.5	1.1%	15.7	1.4%	16.3	1.3%
カナダ	10.4	0.9%	12.6	1.1%	15.6	1.3%
イギリス	5.7	0.5%	6.1	0.5%	13.9	1.1%
フランス	10.7	1.0%	12.6	1.1%	13.7	1.1%
ドイツ	6.2	0.6%	7.6	0.7%	8.5	0.7%
インド	3.7	0.3%	3.9	0.3%	4.1	0.3%
その他	51.6	4.6%	23.0	2.0%	36.4	3.0%
合計	1,110.3	100.0%	1,141.6	100.0%	1,230.6	100.0%

出典：大阪観光局「来阪外客数の推移」より作成

訪日外客数

(単位：万人)

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
中国	735.6	25.6%	838.0	26.9%	959.4	30.1%	106.9	26.0%	4.2	17.2%	18.9	4.9%	242.5	9.7%
韓国	714.0	24.9%	753.9	24.2%	558.5	17.5%	48.8	11.9%	1.9	7.7%	101.3	26.4%	695.8	27.8%
台湾	456.4	15.9%	475.7	15.3%	489.1	15.3%	69.4	16.9%	0.5	2.0%	33.1	8.6%	420.2	16.8%
香港	223.2	7.8%	220.8	7.1%	229.1	7.2%	34.6	8.4%	0.1	0.5%	26.9	7.0%	211.4	8.4%
アメリカ	137.5	4.8%	152.6	4.9%	172.4	5.4%	21.9	5.3%	2.0	8.1%	32.4	8.4%	204.6	8.2%
タイ	98.7	3.4%	113.2	3.6%	131.9	4.1%	22.0	5.3%	0.3	1.1%	19.8	5.2%	99.6	4.0%
オーストラリア	49.5	1.7%	55.2	1.8%	62.2	2.0%	14.4	3.5%	0.3	1.3%	8.9	2.3%	61.3	2.4%
フィリピン	42.4	1.5%	50.4	1.6%	61.3	1.9%	10.9	2.7%	0.6	2.3%	12.7	3.3%	62.2	2.5%
ベトナム	30.9	1.1%	38.9	1.2%	49.5	1.6%	15.3	3.7%	2.7	10.8%	28.4	7.4%	57.4	2.3%
マレーシア	44.0	1.5%	46.8	1.5%	50.2	1.6%	7.7	1.9%	0.2	0.7%	7.4	1.9%	41.6	1.7%
インドネシア	35.2	1.2%	39.7	1.3%	41.3	1.3%	7.8	1.9%	0.5	2.1%	12.0	3.1%	42.9	1.7%
シンガポール	40.4	1.4%	43.7	1.4%	49.2	1.5%	5.5	1.3%	0.1	0.3%	13.2	3.4%	59.1	2.4%
カナダ	30.6	1.1%	33.1	1.1%	37.5	1.2%	5.3	1.3%	0.4	1.4%	5.6	1.5%	42.6	1.7%
イギリス	31.0	1.1%	33.4	1.1%	42.4	1.3%	5.1	1.2%	0.7	3.0%	5.7	1.5%	32.1	1.3%
フランス	26.9	0.9%	30.5	1.0%	33.6	1.1%	4.3	1.0%	0.7	2.9%	5.3	1.4%	27.7	1.1%
ドイツ	19.6	0.7%	21.5	0.7%	23.7	0.7%	3.0	0.7%	0.5	2.1%	4.6	1.2%	23.3	0.9%
インド	13.4	0.5%	15.4	0.5%	17.6	0.6%	2.7	0.7%	0.9	3.6%	5.4	1.4%	16.6	0.7%
その他	139.8	4.9%	156.2	5.0%	179.4	5.6%	26.0	6.3%	8.0	32.7%	41.7	10.9%	165.4	6.6%
合計	2,869.1	100.0%	3,119.2	100.0%	3,188.2	100.0%	411.6	100.0%	24.6	100.0%	383.2	100.0%	2,506.6	100.0%

出典：JNTO「訪日外客統計」より作成

# 宿泊税収の状況（大阪）

- 免税点変更が行われた2019年6月（申請月ベースで2019年7月）を境に、宿泊税収は対前年度比で大幅に増加。
- 一方、新型コロナウイルス感染症の影響が生じ始めた2020年3月（申請月ベースで2020年4月）以降は激減。
- 2023年度は、水際措置の終了や新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う観光客の増加により、宿泊税収は大幅に増加。

